

車いす電動アシストユニット「SmartDrive」 を活用したサービスのトライアルを実施します

～デジタル技術を活用し、すべてのお客さま一人一人に寄り添ったおもてなしを～

2021年3月10日

JAL は、NRI デジタル株式会社(所在地:横浜市西区、代表取締役社長:雨宮 正和氏、以下「NRI デジタル」)、ペルモビール株式会社(所在地:東京都江東区、グループ CEO: Bengt Thorsson 氏、以下「ペルモビール」)、および JAL スカイエアポート沖縄と、那覇空港をご利用いただくすべてのお客さまに快適な移動と新たなお客さま体験をご提供することを目的に、着脱式車いす電動アシストユニット「SmartDrive」とデジタル技術を活用した実証実験(*1)を開始しました。

今回の実証実験においては、ペルモビールの開発した「SmartDrive」を搭載した木製車いす(*2)を使用します。また、車いすには空港内に設置した検証用ビーコンを受信・発信するための機器を搭載し、車いすの位置検知や動線などを可視化することが可能です。これらの技術を活用することで、今後のサービス向上や新たなお客さま体験の提供を目指すとともに、お客さまの安全な空港内移動の提供、およびスタッフの負担軽減効果などを検証します。

(*1) 新千歳空港にて同様の実証実験を実施済みです。以下プレスリリースをご参照ください。

URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202101/005913.html>

(*2) 木製車いすについては、以下 JAL Web サイトをご参照ください。

URL: <https://www.jal.co.jp/jalpri/aircraft/equipment.html?no=Tab1#airportwheelchair>



JAL グループは今回の実証検証を通じて、新しい発想にもとづくお客さまサービスの向上を目指すとともに、今後もテクノロジーを活用した新たな取り組みを積極的に推進してまいります。

■概要

1. 場所・期間・対象者

実施場所 : 那覇空港国内線 出発・到着エリア

実施期間 : 2021年3月8日(月)～2021年3月31日(水)(予定)

対象旅客 : 車いすをご利用、かつ実証実験の内容にご理解・ご承諾をいただいたお客さま

2. 検証内容

- ① 「SmartDrive」を装着した木製車いす(検証用車いす)によるご案内
対象のお客さまをスペシャルアシスタンスカウンター、または出発カウンターから搭乗口、もしくは、搭乗口から到着ロビーまで、スタッフが検証用車いすにてご案内します。「SmartDrive」のアシストにより、搭乗ゲートなど勾配のある通路をよりスムーズにご案内することができます。また、着脱が可能なので、木製車いすの利点を活かし、保安検査場の金属探知機をそのまま通過していただくことが可能です。これらにより、より快適な移動体験の提供に向けた検証を行います。
- ② スタッフ向けお客さま近接通知の連絡
NRI デジタルが開発したアプリにより、検証用車いすが搭乗口などの保安検査エリア内の特定エリアに近づくとビーコンに反応し、スタッフに通知をします。スタッフが車いすの位置を事前に把握することで、スムーズに機内へご案内できるかなど、サービス向上に向けた検証を実施します。
- ③ デジタルサイネージへのパーソナライズメッセージ表示
搭乗口付近に設置されたサイネージモニター(iPad)がNRI デジタルが開発したアプリから発信されるビーコンを検知すると、モニター上にお客さまへのメッセージが表示されます。ご利用のお客さまに合わせたご案内によるおもてなしを検証します。

■車いす電動アシストユニット「SmartDrive」について

ペルモビールが開発した「SmartDrive」は、手動の車いすに簡単に取り付けられる着脱式の電動アシストユニットです。車いすのプッシュハンドルにボタンを設置することで、介助用ユニットとして利用することができます。また、「SmartDrive」によるアシストにより、手動では登ることができないような勾配のある坂道を、介助者なしで移動することができます。

※介助者なしでの移動については、今回の検証対象外となります。

以上

JAL
INNOVATION
Lab

Embrace the
Challenge JAL